



各 位

N P O 放送批評懇談会

## 発表!! 第 2 弾 第 62 回ギャラクシー賞

### マイベストTV賞グランプリ

平素は放送批評懇談会にご理解とご支援をいただきありがとうございます。  
テレビ、ラジオ、CMの作品、制作者、関係者に贈る賞として 62 年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」。

2024 年度「マイベストTV賞グランプリ」を発表いたします。  
貴誌／紙、貴メディアでのご紹介をお願いいたします。

贈賞式は、6 月 2 日（月）に開催予定です。  
贈賞式は放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネルでライブ配信を行います。

#### 第 62 回ギャラクシー賞贈賞式 YouTube ライブ配信

日時：6 月 2 日（月）午後 3 時～5 時 20 分（15:00-17:20）

司会：鬼頭里枝 森谷佳奈

放送批評懇談会 YouTube 公式チャンネル  
<https://www.youtube.com/HOUKONchannel>



※上記 YouTube 公式チャンネルでは、ギャラクシー賞受賞ドキュメンタリー作品の再生リストを掲載中です。



## 視聴者参加型のギャラクシー賞

# テレビ マイベストTV賞グランプリ

マイベストTV賞 第19回グランプリ

## ドラマ NEXT 「ひだまりが聴こえる」

テレビ東京

視聴者の評価、満足や感動の気持ちを、投票によって形にしたマイベストTV賞。第19回のグランプリに輝いたのは、テレビ東京のドラマ NEXT「ひだまりが聴こえる」。難聴によって人と距離を置くことが当たり前になってしまった大学生と、明るくまっすぐな性格の同級生。“ノートテイク”というボランティアの要約筆記を通じて繋がってゆくふたりの心を、繊細に描いたヒューマンラブストーリー。投票では「主人公の物語だけでなく、難聴者に対する関心や配慮も描かれていて、愛を感じさせるドラマ」「SNSを通して制作チームと同じ温度でひとつの輪になれたような感覚は、忘れられない宝物となった」「中沢元紀さんと小林虎之介さん、主演ふたりの飾らない瑞々しい演技が素晴らしかった」といった称賛の声が数多く寄せられ、圧倒的な票を集めました。

### 解説

マイベストTV賞に参加した「オンライン会員 Gメンバー」は、2025年4月23日現在で1,492名。これに放送批評懇談会の正会員202名が加わり投票にあたった。

年間のグランプリは、2024年4月度から2025年3月度まで投票によって毎月決められたノミネート作36本と、2025年4月に実施した「ネット配信ドラマ」の特別投票の上位3本を合わせた計39本の中から、最大5本までを投票するという方法で決められた。

グランプリに選ばれたのは、テレビ東京のドラマ NEXT「ひだまりが聴こえる」。“相手を思いやる気持ちがとても優しく、温かな世界感で描かれていた”“深夜ドラマ、BL、そんな枠組みにとらわれずに評価されてほしい作品”といった熱いコメントが多く寄せられ、圧倒的な支持を集めた。

第2位はNHKの連続テレビ小説「虎に翼」。“ジェンダー、国籍などの問題を物語の流れに入れた構成、そして演技が素晴らしかった”“脚本の吉田恵里香さんの紡ぐ言葉が心の支えになったドラマ”などのコメントが集まり、また“ドラマ史に残る秀作”という声もあり、完成度の高さが大いに評価された。

第3位はTBSテレビの日曜劇場「御上先生」。“大きなミステリーが進行しながらも、毎回教室で行われる御上先生の授業は現代の教育現場の問題提起にもなっていた”“スリリングなドラマの中に、若い俳優の個性が輝いていた”など、テーマと演技を評価する声が多かった。

今年度のグランプリ投票も、視聴者の熱い思いが詰まった連続ドラマが上位を占める結果となった。一方で、ネット配信ドラマも「地面師たち」(Netflix)がトップ10に肉薄するなど、予想を上回る票を集めて視聴形態の広がりを感じさせた。



### 最終投票結果

第 1 位	ドラマ NEXT「ひだまりが聴こえる」(テレビ東京)	670 票
第 2 位	連続テレビ小説「虎に翼」(NHK)	283 票
第 3 位	日曜劇場「御上先生」(TBSテレビ)	205 票
第 4 位	ドラマ 10「宙わたる教室」(NHK)	164 票
第 5 位	日曜劇場「海に眠るダイヤモンド」(TBSテレビ)	151 票
第 6 位	大河ドラマ「光る君へ」(NHK)	146 票
第 7 位	アンメット ある脳外科医の日記(関西テレビ)	107 票
第 7 位	プレミアムドラマ「団地のふたり」(NHK)	107 票
第 9 位	ドラマ 10「東京サラダボウル」(NHK)	99 票
第 10 位	日曜ドラマ「ホットスポット」(日本テレビ)	93 票

### 参考

#### ★どんな賞？

「ギャラクシー賞マイベストTV賞」は、放送批評懇談会がNPO（特定非営利活動法人）になったことを節目として創設されました。

視聴者はどんな番組を評価し、どんな番組を愛好しているのでしょうか。放送局や放送の作り手には、視聴者の声は届きにくいのが現実でした。とくに、「よかった」「素晴らしかった」といった推奨の声はなかなか形になって表れません。視聴者の評価の声を形にしたい、視聴者の気持ちを放送局や制作者に届けたい——そんな思いから生まれたのが、「ギャラクシー賞マイベストTV賞」です。

#### ★賞の本数、対象年度、賞の仕組み

ギャラクシー賞マイベストTV賞グランプリ 1本

年度（4月～翌年3月）に日本国内で放送されたテレビ番組が対象

特別投票「ネット配信ドラマ」にノミネートされた作品も対象（2022年度より）

選出者は放送批評懇談会正会員とオンライン会員Gメンバー。選出は放送批評懇談会の会員サイトの投票で行う。毎月の候補番組は放送批評懇談会で制定。会員は毎月1回、候補番組の中から5本まで選んで投票。得票の多かった3本が月間ノミネート番組に選出される（投票の経過・結果はWebサイトで発表）。1年間に選出された月間ノミネート番組から、年間のベスト番組5本を選んで投票。もっとも多くの支持を獲得した番組1本が、＜ギャラクシー賞マイベストTV賞グランプリ＞に選出される。

#### ★オンライン会員Gメンバーとは？

「放送批評懇談会 オンライン会員 Gメンバー」は、放送批評懇談会の活動に参加する「準会員制度」として、2016年5月にスタートした。会費は年額1,000円。

Gメンバーは「ギャラクシー賞マイベストTV賞」選出に参加し、番組への意見や感想を、テレビ・ラジオの制作者に発信する。月刊誌「GALAC」の簡易電子版を購読できるほか、放送批評懇談会が主催するセミナーなどに特別料金で参加できる特典なども用意されている。

## 志賀信夫賞

## 中村耕治

## フロンティア賞

## radiko

## マイベストTV賞 第19回グランプリ

## ドラマNEXT「ひだまりが聴こえる」

テレビ東京

## テレビ部門

## プレミアムドラマ「舟を編む～私、辞書つくります～」

日本放送協会 日テレ アックスオン

## 能登デモクラシー

石川テレビ放送

## 罪の壁 危険運転致死傷罪の23年

福井テレビジョン放送

## NHKスペシャル「一億特攻」への道～隊員4000人 生と死の記録～」

日本放送協会 NHKエンタープライズ

## テレビ千鳥「テストで100点取りたいんじゃ!!」

テレビ朝日

## 新宿野戦病院

フジテレビジョン

## 連続テレビ小説「虎に翼」

日本放送協会

## プレミアムドラマ「団地のふたり」

日本放送協会 テレパック

## テレ東の人気企画を世界のテレビ局がやってみた!テレ東スマッシュヒッツ

テレビ東京

## 情報は誰のもの?～ごみ処理施設と情報公開～

RKB毎日放送

## メ～テレドキュメント「掌で空は隠せない～木本事件の99年後～」

名古屋テレビ放送

## 題名のない音楽会

テレビ朝日

## 1995～地下鉄サリン事件30年 救命現場の声～

フジテレビジョン

## ノー・モア・ヒバクシャ～NEVER AGAIN NAGASAKI～

長崎文化放送

## 特別賞

## バリバラ

日本放送協会

## 個人賞

## 杉咲花

「アンメット ある脳外科医の日記」(関西テレビ)、日曜劇場「海に眠るダイヤモンド」(TBSテレビ)の演技

## 報道活動部門

## 自閉症の画家・石村嘉成さんの継続取材と映画「青いライオン」を核とする一連の報道活動

RSK山陽放送

## 刑事司法の壁に挑んだ一連の検証報道

関西テレビ放送

## 阪神・淡路大震災30年 関西民放NHK連携プロジェクト「守りたい、だから伝える」

関西民放NHK連携プロジェクト

## 旧優生保護法 強制不妊手術をめぐる一連の報道

東日本放送

## 知床沖観光船沈没事故 2年5カ月に及ぶ独自の検証報道

北海道テレビ放送

## よんちゃんTV コドモマモル～性と向き合う～キャンペーン

毎日放送

## ラジオ部門

## ラジオドラマ「うっちゃり横綱道 前田山英五郎」

南海放送

## CBCラジオ特集「20年目」

CBCラジオ

## KNB報道スペシャル「ふるさとの亀裂～地震と過疎と原発と～」

北日本放送

## 文化放送報道スペシャル「全生園の柊」

文化放送

## MANDAN

九州朝日放送

## ウボポイ音楽祭2024 presented by ウボポイラジオ

エフエム北海道

## ABCラジオぼうさい部スペシャル あの日に学ぶ未来への備え

朝日放送ラジオ

## ニッポン放送開局70周年記念ラジオドラマ「マミーロード」

ニッポン放送

## DJパーソナリティ賞

## 大窪シゲキ

「大窪シゲキの9ジラジ」(広島エフエム放送) パーソナリティとして

## CM部門

## テレビCM

## 大塚製薬 カロリーメイト「それぞれの音色」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

## 花王 メリット シリーズ「家族と愛とメリット」

花王 電通 電通クリエイティブピクチャーズ

## キリンビール KIRIN 一番搾り 糖質ゼロ シリーズ「いい時代篇」「誰が決めたの?篇」

キリンビール 電通 太陽企画

## 小学館 例解国語辞典「例解学習国語辞典 2024 TVCM」

小学館 電通 AOI Pro.

## ラジオCM

## 大日本除虫菊 シンカトリ 金鳥文庫 わたしは猫シリーズ「1」「2」「3」「4」「5」「6」「7」「8」

大日本除虫菊 電通 (Creative KANSAI) ヒッツコーポレーション

## 中央軒 企業「私たちは考えました篇」

中央軒 朝日放送ラジオ ビッグフェイス

## ウェブCM

## 海上保安庁 シリーズ「海上保安官物語」

海上保安庁 読売広告社 読売クリエイティブスタジオ

## キングジム テブラ シリーズ「#おねがいテブラ」

キングジム 電通 二番工房

## KDDI UQ親子応援割 シリーズ「#親子のスマホホンネ」

KDDI 電通 AOI Pro.

## セブン銀行 企業 シリーズ 連続ミニチュアドラマCM「第0会議室」

セブン銀行 電通 ソーダコミュニケーションズ

## 日産自動車 日産90周年記念ムービー「NISSAN LOVE STORY」

日産自動車 TBWA HAKUHODO TYO

## 三井住友銀行 Olive シリーズ「通帳の人①」「通帳の人②」「通帳の人 手続きって、“つながり”やねん。」「通帳の人 俺もまとめてんねん。」「通帳の人 そのポイントをくれんのは、誰や?」

三井住友銀行 電通 TUGBOAT 東北新社

## ユニクロ ユニクロ年末祭・新年祭 シリーズ 年末年始いるいる劇場 by シンゾウ▼「年末年始いるいる劇場 ティザー」▼年末いるいる劇場 by シンゾウ▲「地元の服装、油断しがち。」「服も年末の挨拶も重ねがち。」「地元の飲み会、座敷がち。」「大掃除、思い出に邪魔されがち。」「方言と標準語、ハイブリッドがち。」「▼新年いるいる劇場 by シンゾウ▲「初夢、忘れがち。」「ウエストゆるめがち。」「新年、はりきりがち。」

ユニクロ 電通 太陽企画

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、6月2日(月)開催「第62回ギャラクシー賞贈賞式」で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社(者)名五十音順に記載。●詳しい結果は6月6日(金)発売の「GALAC」2025年7月号に記載いたしますので、ご覧ください。



## ギャラクシー賞の概要

### ◆歴史および概要◆

1963年、放送草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は年度単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河という訳のほか、佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第50回（2013年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

### ◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会が開催され、月間賞が選出されている。他部門も定例会を持ち番組・作品を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎゃらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

### ◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年5月下旬～6月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

- 【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1
  - 【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1
  - 【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9
  - 【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3
  - 【その他】志賀信夫賞 1、フロンティア賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1
- (上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。)

<志賀信夫賞>

放送批評懇談会の発展に寄与した放送評論家・志賀信夫の功績をたたえるために、2009 年度（第 47 回）創設。広く放送界の発展、放送文化の向上に貢献した人物等を表彰する。放送批評懇談会正会員の推薦を元に選出する。

<フロンティア賞>

放送界の未来を切り拓く挑戦を果たした番組、仕組み等を顕彰する。2015 年度（第 53 回）創設。

<マイベストTV賞>

視聴者の参加により選ばれるテレビ番組賞で、2006 年度（第 44 回）創設。放送批評懇談会選奨事業委員会が候補番組を選定し、これを毎月、放送批評懇談会正会員と「Gメンバー」（視聴者によって構成される放送批評懇談会のオンライン会員）が投票して選出される。年間で最も得票を得たものが「マイベストTV賞グランプリ」として表彰される。

◆沿革◆

- 1963 年度（表彰は 1964 年）ギャラクシー賞誕生、第 1 回。
- 1976 年度 第 14 回 大賞を導入。月間賞を新設。
- 1989 年度 第 27 回、ラジオ部門独立。
- 1993 年度 第 31 回、ラジオ部門に「DJパーソナリティ賞」新設。
- 1995 年度 第 33 回、CM部門設立。
- 2002 年度 第 40 回、報道活動部門設立。
- 2006 年度 第 44 回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。
- 2009 年度 第 47 回、「志賀信夫賞」を新設。
- 2015 年度 第 53 回、放送の新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。

●放送批評懇談会について：1963 年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CM を顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行っています。

●過去の実賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://www.houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

以上